

目 次

第1章 策定にあたって

1 策定の趣旨	1
2 名称	1
3 プランの位置づけ	2
4 計画期間	2

第2章 我が国の食料・農業・農村地域を取り巻く情勢

1 少子高齢化と人口減少がもたらす食料・農業・農村地域への影響	3
2 世界の食料需給等の見通しとグローバル化の進展	3
3 食料自給率の動向	4
4 農業を支える担い手等農業・農村地域の構造の変化	5
5 消費者ニーズと食をめぐる課題の多様化	5
6 多面的・公益的機能と農業・農村地域の多様な可能性	6

第3章 山口市の特性と主要課題

1 特性	7
(1) 地理的概況	
(2) 世帯・人口の概況	
(3) 農業の現況	
2 主要課題	18
(1) 耕地面積に対する耕作放棄地の増加	
(2) 農業への興味や関心	
(3) 農業の担い手不足	
(4) 農業所得の向上	
(5) 畜産業の活性化	
(6) 食料自給力・食料自給率の低迷	
(7) 地産地消のより一層の推進	

- (8) 老朽化する施設の維持管理
- (9) 生物多様性の損失
- (10) 有害鳥獣被害の深刻化
- (11) 農地転用による農地の減少
- (12) 農村地域の活力衰退

第4章 前プランにおける評価

1 未来に継承できる農業づくり	31
(1) 多様な担い手の育成・支援	
(2) 時代、ニーズにあった多彩な農業生産	
(3) 農業生産基盤の整備・維持管理	
2 親しみのある食と農の関係づくり	35
(1) 食と農の関係づくり	
3 魅力と活気にあふれる農業づくり	36
(1) 緑と活力あふれる農村の振興	

第5章 目標と施策の展開

第1節 将来像と3つの基本目標	38
1 計画の進捗を測るための指標	40
(1) 将来像の成果指標	
第2節 施策の基本的な方向性及び展開	40
第1項 基本目標ごとの施策の展開	40
基本目標Ⅰ 持続可能な農業への仕組みづくり	40
1 農業生産における体制づくり	40
(1) 担い手の確保	
(2) 担い手の育成・支援	
(3) 法人化の促進	
(4) 地域農業の再生・創生	
(5) 担い手受入法人等への支援	

(6) 畜産の担い手確保	
2 経営基盤強化と所得向上	42
(1) 農地集積・集約化の促進	
(2) 地域性やニーズに合った農畜産物生産の促進	
(3) ブランド化・6次産業化の促進と販路拡大	
(4) 農業所得の向上	
3 農業基盤の整備及び維持・管理	45
(1) 農地や農業用施設の適正管理	
(2) 自然循環機能の活用	
基本目標Ⅱ 身近で親しみのある食と農の関係づくり	46
1 食と農に関する理解の促進	46
(1) P R・啓発活動	
(2) 子ども達への教育活動	
(3) 学校給食との連携	
(4) 地産地消の取組	
2 安全・安心ニーズへの対応	47
(1) 「顔の見える」販売の促進	
3 健全な食生活への対応	47
(1) 共食の必要性や機会を増やすための普及啓発	
(2) 楽しく身になる食体験の場づくり	
基本目標Ⅲ 魅力あふれる住みたい農村づくり	49
1 農村地域における交流の促進	49
(1) 多彩な交流の展開	
(2) 情報の発信	
(3) 農福連携の推進	
2 農村地域への移住・定住の促進	50
(1) 基礎的な生活機能の整備	
(2) 定住に向けた土地及び空き家の利活用	
(3) 地域コミュニティの向上	

3 生産・農村環境の保全	51
(1) 鳥獣被害防止対策の推進	
(2) 病害虫の防除対策の推進	
第2項 基本目標ごとの施策の指標	52
第3項 基本目標ごとの実行事業一覧	53
第3節 地域ごとの方向性	54
1 市街近郊地域	
(大殿、白石、湯田、大内、宮野、吉敷、平川、大歳、小郡)	54
2 北部地域(仁保、小鯖、徳地、阿東)	54
3 南部地域	
(陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山、秋穂、阿知須)	55

第6章 施策の推進

1 各主体の役割	56
(1) 農業者の役割	
(2) 農業関係団体等の役割	
(3) 市民・消費者の役割	
(4) 事業者の役割	
(5) 市の役割	
2 プランの進行管理	59

■資料編

山口市食料・農業・農村振興プラン策定委員会設置要綱	60
食料・農業・農村に関するアンケート調査(一部抜粋)	63
(1) 調査概要	
(2) 調査結果	

■用語解説	89
-------	----